

# 平成14～18年度石油ガス需要見通しの概要

## 1. 石油ガス総需要

### (1) 平成14年度

家庭業務用は、前年度の暖冬の反動、LPガス世帯数の増加、業務用GHP出荷台数の増加により、需要の増加が見込まれ、化学原料用は、石油化学会社の原燃料の多様化が進むため需要の増加が見込まれる。

一方、工業用は、景気の低迷等により需要の減少が見込まれ、都市ガス用は、中小都市ガス会社のLNG転換が進むため需要の減少が見込まれる。

そのため、14年度の総需要は、前年度比0.0%で18,457千トンとなる見通し。

### (2) 平成15～18年度

都市ガス用は、中小都市ガス会社のLNG転換が更に進むため、需要の減少が見込まれる。

一方、その他の家庭業務用、化学原料用、自動車用等は、引き続き需要の増加が見込まれる。

そのため、平成18年度の総需要は、13～18年度の平均伸び率は0.6%増で18,981千トンとなる見通し。

## 2. 部門別需要状況

### 家庭業務用

14年度は、前年度比0.6%の増加(7,694千トン)

[増加の主な要因]

家庭用ではLPガス世帯の増加、LPガス器具普及率の増加、業務用ではGHPの出荷台数の増加により、家庭業務用需要は増加する見通し。

13～18年度の年平均伸び率0.8%の増加。

### 工業用

14年度は、前年度比1.5%の減少(4,642千トン)

[減少の主な要因]

景気の低迷等より、工業用需要は減少する見通し。

13～18年度の年平均伸び率0.0%の横ばい。

### 都市ガス用

14年度は、前年度比3.5%の減少 (1,783千トン)

[減少の主な要因]

都市ガス販売量の伸びに伴い、増熱用LPガス需要は増加するものの、中小都市ガス会社のLNG転換が進むと見込まれ、都市ガス用需要は減少する見通し。

13～18年度の年平均伸び率2.3%の減少。

### 自動車用

14年度は、前年度比0.8%の増加 (1,528千トン)

[増加の主な要因]

省エネにより燃費が向上するものの、規制緩和によるタクシー台数の増加、貨物車台数増加が見込まれ、自動車用需要は増加する見通し。

13～18年度の年平均伸び率0.3%の増加。

### 化学原料用

14年度は、前年度比3.1%の増加 (2,397千トン)

[増加の主な要因]

石油化学会社において、原燃料の多様化が進むと見込まれ、化学原料用需要は増加する見通し。

13～18年度の年平均伸び率3.1%の増加。

### 電力用

14年度は、前年度比3.0%の増加 (413千トン)

[増加の主な要因]

電力各社の計画により、電力用需要は増加する見通し。

13～18年度の年平均伸び率0.6%の増加。